第1 基準に準拠している旨

本監査は、川越市監査基準に準拠し執行した。

第2 監査の対象

保健医療部

ふれあい歯科診療所

産業観光部

グリーンツーリズム拠点施設

第3 監査の期間

令和6年4月1日から令和6年6月27日まで

第4 監査の方法

監査委員が監査対象施設に出向き、施設及び物品等の監査を実施した。
今回の監査重点事項及び主な着眼点については、以下のとおりである。

1 施設の管理について

着眼点 ①施設・設備の管理状況 ②利用状況

2 安全対策について

着眼点 ①来所者の対応状況 ②避難訓練等の実施状況

3 物品の管理について

・備品出納簿より3件を抽出した。

着眼点 ①管理状況

4 現金等の管理について

着眼点 ①取扱い現金の内容 ②現金取扱員の任命手続きの状況

③現金等の保管・納入・管理状況

④郵便切手の管理、受払簿の整備状況

5 情報の管理について

着眼点 ①外部記録媒体の管理状況

第5 監査を執行した監査委員

中沢雅生、石川隆二、小野澤康弘、桐野忠

第6 監査の結果

事務処理上留意すべき点で軽易なものは、監査執行の際口頭で述べたが、監査の結果は以下のとおりである。

1 施設の管理について

特に問題はなかったが、今後とも適切に管理するよう要望する。

2 安全対策について

(要 望)

グリーンツーリズム拠点施設において、不審者対応を想定したマニュアルはなく、訓練も行っていなかった。新設されたバーベキュー場や調理室での刃物の取扱いもあるため、不審者、利用者間のトラブル等に備えた対応を検討するよう要望する。

3 物品の管理について

軽易なものを除き特に問題はなかったが、今後とも適正に管理するよう要望する。

4 現金等の管理について

(意 見)

グリーンツーリズム拠点施設において、公金であるグリーンツーリズム拠点施設使用料ほか3件について、現金出納簿の件数集計に関する考え方が統一されておらず、日によって異なる集計方法が混在している状態のもの、現金出納簿や現金保管金額確認表の一部記載誤りがあったもののほか、現金出納簿が作成されていないものがあった。また、数日分の保管現金を週2回に分けて納入するにあたり、会計管理者の同意を得ていたが、同意金額を大きく上回る額を保管していることがあった。さらに、準公金である蔵 in ガルテン川越グリーンツーリズム推進協議会農業体験参加料ほか3件について、現金出納簿の記載誤りがあるもの、現金出納簿が作成されていないものがあったほか、内訳が分かる書類の提供を受けていないものがあった。

会計規則等にのっとり、適正に事務処理をすること。

5 情報の管理について

軽易なものを除き特に問題はなかったが、今後とも適正に管理するよう要望する。

※取扱い

指 摘： 次に該当する場合について、監査委員がその是正を求め表明する指摘事項をいう。

- (1) 合規性の観点から、法律、条例、規則等に照らして明らかに違反し、既に現実上大きな影響が発生しているもの、又はその可能性が高いもの。
- (2) 法令等に違反はないが、その妥当性（公正性、正確性、効率性、その他の財務会計上の適正性をいう。）に問題があり、明らかに不適切なもの。

意 見： 「指摘」には至らないものの、合規性又は妥当性の観点から何らかの課題が認められ不適切と言わざるを得ないもので、早期にその是正を行うことにより将来的に重大な影響の発生の阻止が期待されるもの、又は行政効果の拡大に繋がるもの。そのほか、「注意」が改善されず再度「注意」を受けた場合には、以降「意見」として取り扱うものとする。

要 望： 何らかの不適切な事項に対し、「あるべき姿」や「その方向性」を提示するとともに、一定の改善策又は目標値等を示しつつ、監査委員が願望として表明する所感をいう。

なお、「指摘」、「意見」に至らない程度の軽微な不適切事項等を「注意」としている。

第1 基準に準拠している旨

本監査は、川越市監査基準に準拠し執行した。

第2 監査の対象

学校教育部

教育センター第一分室、教育センター第二分室

第3 監査の期間

令和6年4月1日から令和6年6月27日まで

第4 監査の方法

監査委員が監査対象施設に出向き、施設及び物品等の監査を実施した。
今回の監査重点事項及び主な着眼点については、以下のとおりである。

1 施設の管理について

着眼点 ①施設・設備の管理状況 ②利用状況

2 安全対策について

着眼点 ①来所者の対応状況 ②避難訓練等の実施状況

3 物品の管理について

・備品出納簿より3件を抽出した。

着眼点 ①管理状況

4 情報の管理について

着眼点 ①外部記録媒体の管理状況

第5 監査を執行した監査委員

中沢雅生、石川隆二、小野澤康弘、桐野忠

第6 監査の結果

事務処理上留意すべき点で軽易なものは、監査執行の際口頭で述べたが、監査の結果は以下のとおりである。

1 施設の管理について

(要 望)

施設の老朽化等に伴う修繕を要する箇所が散見された。緊急を要するものから

計画的に修繕するとともに、駐車場の駐車スペースの確保に努めるよう要望する。また、両施設は建設から40年以上経過しているが、大規模改修の実施については、今後の施設の在り方に大きく関わってくることから、川越市公共施設等総合管理計画及び川越市個別施設計画に基づき、関係部署と連携し、今後の在り方について検討を進めるよう併せて要望する。

2 安全対策について

軽易なものを除き特に問題はなかったが、今後とも十分配慮するよう要望する。

3 物品の管理について

軽易なものを除き特に問題はなかったが、今後とも適正に管理するよう要望する。

4 情報の管理について

特に問題はなかったが、今後とも適正に管理するよう要望する。

※取扱い

指 摘： 次に該当する場合について、監査委員がその是正を求め表明する指摘事項をいう。

(1) 合規性の観点から、法律、条例、規則等に照らして明らかに違反し、既に現実上大きな影響が発生しているもの、又はその可能性が高いもの。

(2) 法令等に違反はないが、その妥当性（公正性、正確性、効率性、その他の財務会計上の適正性をいう。）に問題があり、明らかに不適切なもの。

意 見： 「指摘」には至らないものの、合規性又は妥当性の観点から何らかの課題が認められ不適切と言わざるを得ないもので、早期にその是正を行うことにより将来的に重大な影響の発生の阻止が期待されるもの、又は行政効果の拡大に繋がるもの。そのほか、「注意」が改善されず再度「注意」を受けた場合には、以降「意見」として取り扱うものとする。

要 望： 何らかの不適切な事項に対し、「あるべき姿」や「その方向性」を提示するとともに、一定の改善策又は目標値等を示しつつ、監査委員が願望として表明する所感をいう。

なお、「指摘」、「意見」に至らない程度の軽微な不適切事項等を「注意」としている。